

～変化する時代とともによりよい教育へ～

～行事を通じた取り組みの再開と人との繋がり～

コロナ禍前の発表会では、東学園の子どもたちの成長を感じる取り組みの一つとして、小学生のアナウンスや中学校ダンス部の賛助出演がありました。今年度は、久しぶりにその取り組みを再開することができました。小学生のアナウンスは、とても落ち着いていて素敵でした。中学生のダンスは圧巻の演技でした。可愛らしい園児たちの演技と中学生の洗練された演技、それぞれが表現することに喜びを感じ、やり遂げていく姿を目の当たりにして、私たち教職員にとっても、皆様にとっても、成長の繋がりを感じる発表会になったことと思います。

また今年度、運動会では母親体操クラブ（保護者有志のサークル活動）のダンス、父親ボランティアの太玉転がし、園まつりではゲームコーナーや催し物を再開することができました。また母親コーラス部では、コーラス隊の皆様が、より身近に子供たちと一緒に楽器に触れ、楽しむことができました。このように様々な活動にご協力いただくことで、ご家族皆様に子供たちの成長を見守っていただくことができました。また、未就園の方、地域の方とのつながりを持つこともできました。

幼稚園



【1面】	幼稚園	目次
【2面】	小学校	
【3面】	中学校	
【4面】	高等専修学校	



～新しいクラスを紹介～

2023年度から、年少りす組に、りすグループとくまグループが誕生しました。

1クラスの人数は9名程で、大きな教室を可動式棚で仕切り、一緒に生活しています。

2クラスになり人数が増えたことで、より多くのお友達と関わる事ができたり、教室には4人の先生が常にいるため、より身近に子どもたちを支えてあげられるようになりました。

今年度から、第二幼稚園で生活をスタートすることになったため、室内の環境だけでなく、園庭環境もリニューアルをしました。

りすくまさんがめいっぱい遊べるように、かつ安全に過ごせるように教室の前の花壇を小さな園庭に全改装しました。遊びの拠点で安心してゆったりと過ごしなが、体を動かし、いろいろな感覚を働かせて学べるようにと願っています。ここで遊び方を学ぶ事によって、1年が経とうとする今現在、遊び方が大きくなり活発に活動できるようになりました

年中年長さんは、「自分はお兄さんお姉さんなんだ」という自覚を持ち、誇らしげに手をつないで教室まで来てくれたり、泣いていても助けてくれたりする様子がこの1年を通して本当に多く伺えました。年少から年長までの子どもたちが共に生活することで互いに影響を与え合いながら成長していったように感じます。

同年齢のお友達とは、毎月開催されるお誕生日会や行事、イベントなどで一緒に過ごし、昨年度までと変わらず、それぞれのクラスで交流することを大切にしています。

激変していく時代の中で、幼稚園の在り方や仕組みはこれからも様々に変化していきます。

いつの時代にも、子どもを喜ん中にし、一人一人の成長を豊かに支えていきたいと思ひます。

「今年度 新しくなったこと」

小学校

小学校では沢山の変化がありました。

1つ目は「新たな授業」です。今年度から新しく始まった哲学e対話は、主に「こころ」の時間に行っていて、対話の参加者が輪になって意見を出し合い一緒に考えを深めていきます。この授業では、ランダムで3~4人のグループに分かれ1つのテーマについて話し合います。

例えば、3,5年生は、外部の先生を招いて、先生が提示した「名前はなぜ必要なのか」というテーマで哲学e対話を行い、大いに盛り上がりました。

2つ目は、「校舎内の変化」です。音楽室がリフォームされ明るくなり、さらに「スタインウェイ」のピアノを寄贈してもらいました。

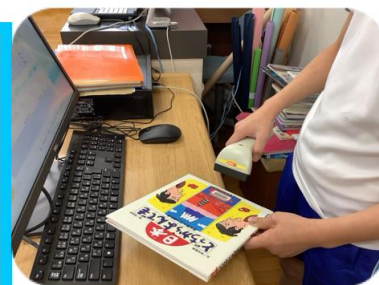
また、図書室では、iPadから図書室にある本を検索できるようになったり、カードに記入する貸し出しではなく、バーコードでの貸し出しができるようになったりしました。

「5類になってからの学校」

前期にコロナが5類になり、学校生活もコロナ禍よりも楽しくなりました。マスクを外して学校生活を行うことができるようになったので、友達の表情もしっかりと見ることができるようになり、とても嬉しいです。

その中で最もコロナ禍より変化したことは友達同士の交流が増えたことです。学年全体での交流は定期的に行い、1年生と6年生と一緒にレクをする2学年レクも始まりました。この交流により、学校の中を歩いても友達に会うので、自分も友達もとても楽しい学校生活を送ることができ校内全体がとてもこやかになっています。

このように自分のクラスだけではなく、他のクラスや学年とも交流が深まります。たくさん友達を作って、良い学校生活を送って欲しいと思っています。



貸し出しの様子



リフォームされた音楽室

会長 平尾陽道
副会長 飯尾宙太
藤川琉花

3、4年ぶりに班で給食を食べられるようになりました。今まではコロナウイルスの影響で前を向いて食べていましたが、コロナウイルスが収まってきて、みんなで楽しく放送じゃんけんに参加したり、好きな曲などで盛り上がったりしながら給食を食べています。

そしてこの数年、宿泊学習がなくなったり、また宿泊数が減ったりしました。でも今年は、1年生AB組は埼玉県森林公園、2年生AB組はすみだ水族館・スカイツリー・ゆうせい博物館、3年生AB組は小田原・湯河原、4年生は埼玉県秩父市ながとろ、5年生AB組は群馬県、6年生は沖縄県に行きました。また、1、2年CDE組はわくわくピレッジ、3~6年CDE組はチロル学園に行きました。友達と行く宿泊学習はとても楽しかったです！来年の宿泊学習もたのしみです。

【中学校の2・3学期】

大きな行事が2つありました。その様子をお伝えします。

中学校

学園祭 1年生は探究科ゼミの発表、2年生は個人探究の発表を行いました。

長い研究期間と準備を経ての発表は大変でしたが、やりがいがあり、友達の発表も興味深いものでした。3年生は模擬店を担当し、のぼりを作ったり当日は会計や接客、呼び込みをしたりと、自分たちの手で運営を行いました。

買えば絶対何か当たる「東くじ」もあり、今年の最高賞は Apple Watch でした。ファイナーレでは、全員にもう一回チャンスのある、「ダブルチャンス」で盛り上がりました。



学園祭催し日の様子

発表会 武道では、1年生は素手、2年生は素手のほか杖を用いて演技を披露しました。

演技の中には、生徒による創作も含まれています。昨年度行われなかった素手による組手が今年度行われ、より力強い演技ができました。ダンスの部では、映画“Greatest Showman”の曲に合わせ、一から振り付けを創作しました。本番は大きな舞台でプロの方の照明を浴び、とても迫力のある演技になりました。CDE組によるマ스ゲームは、縄跳びとリングを用いた演技です。努力と練習の積み重ねが、演技一つひとつから伝わってきました。6人で縄を跳ぶ最後の



2年生の大技!

大技は、全員の息を合わせる必要があります。見ていてとても楽しく、成功した技を見たときは本当に感動しました。

音楽の部では、去年はAB組各学年での発表でしたが、今年度は1・2年合同で「地球儀」と「夜明けから日暮れまで」を合唱しました。本番は今まで一番の合唱ができたと思います。1~3年CDE組は、楽器の演奏とともに「ひまわりの約束」を合唱しました。全員の歌声が一つにまとまっていて、とてもきれいでした。AB組もCDE組も、クラスで音源を流したり、昼休みや下校前に集まったりして、工夫して練習しました。

【東中生と友愛】

中学校の校訓の一つでもある「友愛」の一場面を、今年度の出来事から紹介します。

<日常の中で> 昨年、縦割り清掃が再開されました。縦割り清掃は1~3年A~E組の生徒がランダムに班を作り、12~13人程で清掃を行う活動です。班の中でペアを作り、互いにフォローし合って窓や床の清掃を行います。週2回行われる縦割り清掃を、今年度は2学期ほぼ毎週行うことができました。

また2学期には委員会の企画で、縦割り班でレクが行われました。コロナ禍は限られた範囲でしか行えませんが、今年度は縦の繋がりがより深まったと思います。

<行事> 学園祭では、A~E組混合の班で過ごします。CDE組の劇発表では、AB組の有志の生徒が大道具の手伝いを行い、友達の新たな一面を見ることができきかけとなりました。普段の学校生活でも、お互いの教室が目の前にあるので、行事の前は「頑張ってるよ」と声を掛け合っています。



対面する教室と、朝の清掃

<委員会> 最近、友愛会の活動が活発化しています。AB組もCDE組も、自分が活躍できる委員会に所属し、互いに協力しながら、自分の意見をもって活動してきました。スポーツ推進委員会が朝行っている「トレダン(トレーニングダンス)」では、クラスを問わず生徒が参加し、朝の時間を有意義に過ごしています。



一日のスタートはトレダンで!

~2・3学期を振り返って~

学園祭、発表会を通し、充実した学校生活を送ることができました。練習は大変だったし、苦勞することもありましたが、終わったときの達成感は満足できるものでした。学校全体で一つの行事に取り組むのは一体感があり、とても楽しかったです。(友愛会副会長 2年 富川)

委員会の企画も部活動も、コロナ前と同じように、自由に行うことができるようになってきました。今後も柔軟な発想と工夫で、様々なことを乗り越えたいと思います。(友愛会副会長 2年 竹内)

戻りつつある伝統行事

学園生活の思い出の1ページとなる行事。コロナウイルスの影響で、短縮や様々な制限下での開催となってしまった行事が少しずつ規模を拡大し、以前行われていた形で開催できるようになりました。

そこで今回、各行事を振り返り、前回と変わった行事についてインタビューしました。



スポーツ大会

去年と今年で大きく変わったことは、練習時間が増え、広い会場で練習、本番ができたことです。みんなで過ごす時間が増えたことで団結力が増し、クラスが一体となりました。

2年 K.Nさん



合唱コンクール

今年は保護者の観覧があり、学年曲を思い切り歌うことができました。3年生の私たちにとって今回の合唱コンクールは、最後にふさわしい本物の合唱コンクールとなり、嬉しく思いました。

3年 O.Gくん

紫

峰

祭



私たちはステージショーでダンスのパフォーマンスを披露しました。去年までの制限が解除され、今年はお客さんの歓声が届く、本格的なステージとなりました。

本番まではどうなるかと心配でしたが、無事に成功し、お客さんのアンコールの声が鳴り響いた時は最高でした。

2年 N.Rさん



私たち3年生は、久しぶりの本格的な模擬店を出店することとなり、とても苦労しました。多くのお客さんの来店があり、休む暇もないくらいに忙しかつたのですが、先生方やメンバーに支えられ、無事に終わることができました。遅くまで残っての準備は大変でしたが、今ではそれも良い思い出となっています。

3年 F.Rくん

～ 編集後記 ～

皆さん、こんにちは。「友愛のつばさ」68号も無事に完成することができました。インタビュー等、協力してくださりありがとうございました。今回は行事について取りあげましたが、行事だけでなく、伝統となるこの「友愛のつばさ」を途切れることなくつなげ、これからも皆さんに助けをいただきながら制作していきます。今後ともどうぞ応援のほどよろしくお願いします。

友愛会書記 泉 慶虎